

お手入れ・保管について

- 使用後は、食器用中性洗剤を付けた柔らかいスポンジで洗い、水分を拭き取り乾燥させてから保管してください。
- タワシ又は磨き粉を使用するとキズが付く場合があります。
- 食材の色素や臭いが移る場合があります。

※製品仕様は予告なく変更することがあります。

サイズ・容量／

保存容器(大)：約192×137×90mm：1.2L

保存容器(小)：約150×108×70mm：0.5L

専用ポンプ：約38×60×142mm

目皿(大用)：約162×107×12mm

品質表示

原料樹脂／本体・ふた・目皿：ポリプロピレン

パッキン・バルブ：シリコンゴム

ポンプ：ポリプロピレン・シリコンゴム

耐熱温度／本体・ふた：120℃、パッキン・バルブ：200℃

耐冷温度／本体・ふた：-20℃、パッキン・バルブ：-40℃

MADE IN CHINA

■お問い合わせ先

Tamahashi co., Ltd.
輸入発売元 株式会社 タマハシ
〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
URL <https://www.smile-king.co.jp>
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp

製造番号

お問い合わせフォーム



袋：PE

化粧箱：ダンボール

Days
デイズ

要保管

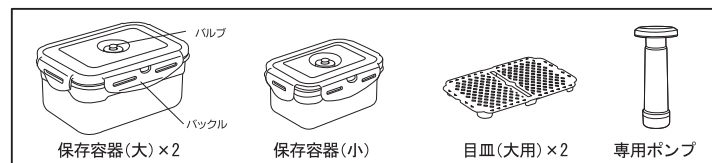
取扱説明書

使用の際は取扱説明書をよく読んでから使用してください。

不適切な取扱いは事故につながります。

使用する方はこの取扱説明書を必ず保管してください。

DS-14 真空保存容器セット



※「真空」は完全な真空状態のことではありません。JIS規格における「大気圧より低い圧力の気体で満たされた空間内の状態」です。

■食品保存の仕方



①フタをしてパッキンをきちんと閉めます。



②専用ポンプをバルブに装着して空気を抜きます。

■開け方



①フタ中央部のバルブのボタンを押して空気を入れます。



②パッキルを開いてフタを外します。



真空状態
蓋が少しへこんだようになります。



通常の状態

使用する前に

- ご使用前には必ず、各部に異常のないことを確認してください。各部に変形や破損などが生じている場合には使用しないでください。
- 最初に使用する時は、製品に貼ってあるシールなどをはがしてから食器用中性洗剤を付けて、柔らかいスポンジで十分に洗い、乾かしてから使用してください。
- 食品を保存する前には容器をよく洗い十分乾燥させてからご使用ください。
- 品質に万全を期していますが、万一不具合があった場合には、使用しないで販売店またはお問い合わせフォームよりご相談ください。

■浅漬け等の作り方



①容器の中に切ったお好みの野菜と調味料を入れます。



②フタをしてバックルをきちんと閉めます。

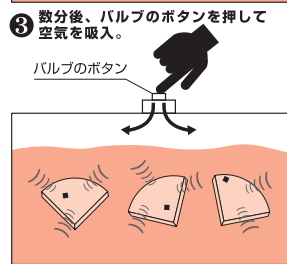
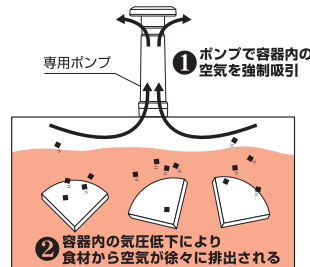
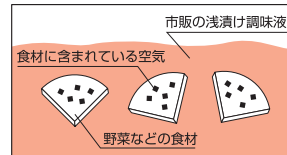


③専用ポンプをバルブに装着して空気を抜きます。



④そのまま数分置きます。時間が経過したらバルブのボタンを押して空気を入れます。浸かり具合を確認してください。

【減圧調理について】



使用上の注意

▲ 警告

**直火・グリル・オープンでは使用できません。
真空状態のままでの電子レンジの使用はしないでください。**

- 本品は食用保存容器です。用途以外のご使用は避けてください。
 - 火のそばに置かないでください。本体の変形や火傷の原因になります。
 - 直火・グリル・オープンには使用しないでください。本体の変形や火災の原因になります。
 - 電子レンジをご使用の際、空焚きはしないでください。
 - 電子レンジをご使用の際は、**真空状態のまま加熱しないでください。**必ずバルブボタンを押して空気を入れバックルを外してから加熱してください。
 - 油分の多い食材や油のみを入れて加熱しないでください。耐熱温度を超えて危険です。また発火の恐れがあります。
 - 料理を温める場合、電子レンジの使用ができますが、電子レンジを利用した調理はしないでください。変形や破損の原因になります。
 - 電子レンジ加熱直後は高温になっています。また取り出す際には水分がこぼれないよう十分注意してください。
 - 油分や糖分の多い食品を入れたまま電子レンジでの加熱はしないでください。
 - 長時間保存する場合、容器のサイズや入れる食材により空気が徐々に入る場合があります。**時々ポンプで空気を抜いてください。**
 - ポンプは本品の空気を抜く以外に使用しないでください。
 - 過度な吸引はしないでください。変形の原因になります。
 - 食洗機をご使用の際、吹き出し口近くで使用しないでください。変形の原因になります。
 - 本体に落下などの強い衝撃を与えないでください。破損やケガの原因になります。
 - 食品を保存する際には真空状態で冷蔵庫または冷凍庫で保存してください。
 - 真空状態にしても、滅菌・殺菌はされません。保存には十分ご注意ください。**(痛みやすい食品や夏期は特に注意してください。)
- ※食品の保存期間については、お問い合わせいただいてもわかりかねます。

【バルブの位置の確認】

- フタのバルブ付近に2箇所穴があり、バルブの溝がこの穴にかかると空気がもれて密封保存・減圧調理が出来ません。使用する際はバルブの穴の位置を確認してずらしてからご使用ください。

